

## C-19

出展団体名	農業・食品産業技術総合研究機構	
発表者所属	果樹研究所ブドウ・カキ研究チーム	
発表者氏名	薬師寺 博	
発表タイトル	ブドウの花穂整形器	
ねらい	<input checked="" type="checkbox"/> ビジネスパートナー探し	
	<input type="checkbox"/> 共同研究パートナー探し	
	<input type="checkbox"/> 共同製品開発のパートナー探し	
	<input type="checkbox"/> 所有技術シーズの顧客（ライセンス）探し	
	<input type="checkbox"/> その他（ ）具体的に	
キーワード	① ブドウ	② 花穂整形
	③ 省力	④ 軽労化
要 旨（アピールポイント）		
<p>1. 多くの労働時間がかかる果樹の栽培管理で、ブドウの花穂整形（かすいせいけい＝切り込み）は、果房の形を整えるために行い、高品質果実生産に欠かせない作業である。</p> <p>2. しかし、本作業はブドウの開花期にすべての花房に対して一房ずつ行う必要があるため、大変な重労働である。また、開花期の短期間に終了させる必要もあるため、簡単な操作で短時間に完了できる技術が強く要望されてきた。</p> <p>3. 昨年度、花穂整形を簡単な操作で短時間に完了できる花穂整形器（特許出願中）を考案した。本器を用いることによって、生食用ブドウの有核・無核栽培ともに画期的に作業時間を短縮できる。</p> <p>4. 本整形器が新聞にも取り上げられたことから、農協、農家、生産団体および公立研究機関から多数の問い合わせがあり、ブドウ農家への普及が大きく期待されている。したがって、今後ビジネスパートナーとともに製品化と市販化を図っていきたい。</p>		